

描かれた東海道

室町から横山大観まで、
東海道をめぐる絵画史

主催：静岡県立美術館

後援：静岡県東海道四〇〇年祭実行委員会

協賛：J R 東海

会期：平成13年10月16日(火)～11月25日(日)

休館日：毎週月曜日



ポスター



カタログ

関ヶ原合戦で事実上覇権を握った徳川家康は、慶長6年(1601)正月、江戸幕府開幕に先立ち、東海道の各宿駅を設置した。それから400年、東海道は数々の歴史を刻んだ。この展覧会は、美術における「東海道」にスポットをあてた展覧会で、伝統的な名所絵をはじめ、江戸時代に隆盛した東海道屏風や、歌川広重の代表作「東海道五拾三次(保永堂版)」など浮世絵に描かれた東海道をとおして、当時のいきいきとした姿をしのぶと同時に、近代以降に油絵で描かれた作品や、横山大観らが東海道を旅しながら描いた絵巻なども併せ展示し、画家と東海道の関わりを明らかにした。

展示は以下の4つのセクションにより構成された。

東海道屏風の世界

東海道スケッチと江戸の風景画

浮世絵に見る東海道

東海道と近代画

なお、本展は静岡県下で開催された「東海道四〇〇年祭」にタイアップしたエントリー事業として開催された。

カタログ

28.0×22.5cm 120p.

図版

本文

東海道の絵画史 / 飯田真

旅先スナップショットの最古例——探幽の風景スケッチ—— / 山下善也

横山大観・下村観山・今村紫紅・小杉未醒 東海道を
行く——五十三次合作絵巻の旅—— / 森 充代

出品目録・作家作品解説 / 飯田真・山下善也・森充代
東海道五十三次地図

関連記事

静岡新聞：夕刊文化欄「描かれた東海道」展

飯田真 11月2日

出品目録

	作品名	員数	制作年	材質形状	所蔵	展示期間
東海道屏風の世界						
1	富士三保松原図屏風	6曲1双	室町時代	紙本金地着色	個人蔵	
2	東海道往来図屏風	6曲1隻	室町時代後期～桃山時代 (16世紀中頃～後半)	紙本着色	奈良県立美術館	前期
3	三保松原図屏風 (三保松原・巖島図屏風のうち)	6曲1隻	江戸初期 (17世紀中頃)	紙本金地着色	静岡県立美術館	
4	東海道名所図屏風	6曲1双	江戸時代	紙本着色	大津市歴史博物館	後期
5	東海道図屏風	6曲1双	江戸時代	紙本金地着色	静岡市教育委員会	前期
6	東海道街道図屏風	6曲1双	江戸時代	紙本金地着色	兵庫県立歴史博物館	後期
7	東海道五十三次図屏風	6曲1双	江戸時代	紙本金地着色	東京国立博物館	前期
8	東海道図屏風	6曲1双	江戸時代	紙本金地着色	個人蔵	後期
9	東海道街道図屏風 康廣筆	8曲1双	江戸時代	紙本着色	兵庫県立歴史博物館	左右半期
東海道スケッチと江戸の風景画						
10	狩野探幽 東海道地取図巻	1巻	明暦2年 (1656)	紙本墨画	個人蔵	
11	狩野探幽 富嶽図巻	1巻	寛文2年 (1662)	紙本墨画着色	個人蔵	
12	狩野探幽 富士図画冊	1冊	寛文年間-延宝2年 (1661-74)	紙本墨画一部淡彩	個人蔵	
13	狩野探幽 富士山図	1幅	寛文10年 (1670)	絹本墨画淡彩	静岡県立美術館	
14	英一蝶 富嶽図	1幅	宝永6-享保3年 (1709-24)	紙本墨画淡彩	東京国立博物館	
15	丹羽嘉言 神洲奇観	1幅	明和7年 (1770)	絹本着色	名古屋市博物館	
16	中山高陽 八州勝地図	1幅	安永6年 (1777)	紙本墨画	個人蔵	
17	淵上旭江 東海奇勝 (五畿七道図のうち)	2帖	寛政8年 (1796)	絹本着色	岡山県立美術館	場替
18	原在正 富士山図巻	14巻のうち 3巻	寛政8年 (1796) 頃	紙本着色	個人蔵	場替
19	司馬江漢 長沼村富士眺望図	1幅	文化年間 (1804-18)	絹本淡彩	静岡県立美術館	
20	横山華山 清見瀉富士図	1幅	文政2年 (1819)	絹本墨画	静岡県立美術館	
浮世絵に見る東海道						
21	菱川師宣 東海道分間絵図	5帖	元禄3年 (1690)	墨刷手彩色	東海道広重美術館	場替
22	高力猿猴庵 東街便覧図略 (第二巻、第三巻、第四巻)	7冊のうち 3冊	寛政7年 (1795)	紙本着色	名古屋市博物館	場替
23	葛飾北斎 東海道名所一覽	1枚	文政元年 (1818)	大々判錦絵	神戸市立博物館	前期
24	葛飾北斎 東海道五十三次 (伊勢屋利兵衛版)	56枚のうち 8枚	文化年間初中期頃	小判錦絵	名古屋市博物館	替
「藤澤」「沼津」「原」「蒲原」「鞠子」「金谷」「掛川」「舞坂」						
25	歌川広重 東海道五拾三次之内 (保永堂版)	55枚	天保3 / 4 (1832 / 33)	大判錦絵	静岡県立美術館	
(1)日本橋 朝之景 (2)品川 日之出 (3)川崎 六郷渡舟 (4)神奈川 台之景 (5)保土ヶ谷 新町橋 (6)戸塚 元町別道 (7)藤沢 遊行寺 (8)平塚 縄手道 (9)大磯 虎ヶ雨 (10)小田原 酒匂川 (11)箱根 湖水図 (12)三島 朝霧 (13)沼津 黄昏図 (14)原 朝之富士 (15)吉原 左富士 (16)蒲原 夜之雪 (17)由井 薩埵嶺 (18)奥津 興津川 (19)江尻 三保遠望 (20)府中 安部川 (21)鞠子 名物茶店 (22)岡部 宇津之山 (23)藤枝 人馬継立 (24)嶋田 大井川駿岸 (25)金谷 大井川遠岸 (26)日坂 佐夜ノ中山 (27)掛川 秋葉山遠望 (28)袋井 出茶屋ノ図 (29)見附 天竜川図 (30)濱松 冬枯ノ図 (31)舞坂 今切真景 (32)荒井 渡舟ノ図 (33)白須賀 汐見阪図 (34)二川 猿ヶ馬場 (35)吉田 豊川橋 (36)御油 旅人留女 (37)赤阪 旅舎招婦ノ図 (38)藤川 棒鼻ノ図 (39)岡崎 矢矧之橋 (40)池鯉鮒 首夏馬市 (41)鳴海 名物有松絞 (42)宮 熱田神事 (43)桑名 七里渡口 (44)四日市 三重川 (45)石薬師 石薬師寺 (46)庄野 白雨 (47)亀山 雪晴 (48)関 本陣早立 (49)阪之下 筆捨嶺 (50)土山 春之雨 (51)水口 名物千瓢 (52)石部 目川ノ里 (53)草津 名物立場 (54)大津 走井茶店 (55)京師 三条大橋						
26	歌川広重 東海道五拾三次 (狂歌入東海道)	56枚のうち 9枚	天保11年 (1841) 頃	中判錦絵	浜松市美術館	替
「金谷」「日坂」「掛川」「袋井」「見附」「濱松」「舞坂」「荒井」「白須賀」						

	作品名	員数	制作年	材質形状	所蔵	展示期間
27	歌川広重 東海道 五十三次 (隷書東海道) (12)三島 (13)沼津 (14)原 (15)吉原 (16)蒲原 (17)由井 (18)興津 (19)江尻 (20)府中 (21)鞠子 (22)岡部 (23)藤枝 (24)島田 (25)金谷 (26)日坂 (27)掛川 (28)袋井 (29)見附 (30)濱松 (31)舞坂 (32)荒井 (33)白須賀	55枚のうち 22枚	嘉永2年 (1849) 頃	大判錦絵	静岡県立美術館	替
28	歌川広重 五十三次名所図絵 (縦絵東海道) 「日本橋」「三嶋」「沼津」「吉原」「由井」「府中」「鞠子」「鳴海」	55枚のうち 8枚	安政2年 (1855)	大判錦絵	個人蔵	替
29	歌川国貞 東海道五十三次之内 「三嶋之圖」「沼津圖」「原ノ圖」「蒲原圖」「由井之圖」「府中之圖」「鞠子ノ圖」「藤枝ノ圖」「嶋田ノ圖」「日坂之圖」「掛川之圖」 「袋井之圖」「見附ノ圖」「濱松ノ圖」「庄野ノ圖」「土山之圖」	56枚のうち 16枚	天保7年 (1836) 頃	中判錦絵	個人蔵	替
30	歌川国芳 東海道五十三次 「岡部～金谷」「興津～丸子」	12枚のうち 2枚	天保中期	大判錦絵	個人蔵	
31	歌川貞秀 東海道写真五十三次 勝景	1帖	万延元年 (1860)	大判錦絵、折帖	神戸市立博物館	前期
32	歌川貞秀 東海道高輪風景	3枚続	文久2年 (1862)	大判錦絵	神戸市立博物館	後期
33	歌川貞秀 東海道薩陀峠之景	3枚続	文久2年 (1862)	大判錦絵	神戸市立博物館	前期後期
34	歌川貞秀 東海道沖津駅勝景	3枚続	文久3年 (1863)	大判錦絵	神戸市立博物館	後期期
35	歌川貞秀 東海道荒井之勝景	3枚続	文久3年 (1863)	大判錦絵	神戸市立博物館	前期
36	歌川貞秀 箱根山富士見平御遊 覧諸所遠景之図	3枚続	安政4年 (1857)	大判錦絵	神戸市立博物館	後期
37	安田雷洲 東海道五十三次 「江戸日本橋・品川海中ヨリ品川宿ヲ見之景・自六郷渡至川崎宿景・神奈川宿」「ほどがや・とつ加・ふぢさわ・平塚」「大いそ・さかほ川より小田原を見る景・はこね・三志ま」「するがのくに めまづ・するがのくに はら・するがのくに よ志八ら ひとりにふしを見る景・するがのくに ふし川わたしよりかん八ら宿にいたるの景」「油井・おきつ・糸志り・するが ふちう」「うつや丸子・おかへ・ふぢゑた・しまた 大井川」「かなや さよの中山・につさか・かけがわ・ふくろ井」「みつけてんりう川・はままつ・まひさか いまきれ・あらゑ」「志らすか しほみ坂・ふた川 火打坂・よ志田 吉田橋・御油」「あかさか・ふじ川・おかさき やはぎはし・ちりう」「なるみ・みや・くわな・四日市」「い志やくし・志やうの・加め山・せき」「坂下・土山・水口・石部」「草津・大津・京都三條橋・祇園新島原」	14	弘化元年 (1844) 頃	銅版画	町田市立国際版画美術館	替
東海道と近代画						
38	亀井竹二郎 石版『懐古東海道 五十三驛真景』油彩原画 「白須賀驛」「荒井驛」「濱松驛」「見附驛」「袋井驛」「掛川驛」「日坂驛」「金谷驛」「島田驛」「藤枝驛」「由井驛」「原驛」「沼津驛」 「三嶋驛」	53のうち14	明治10年 (1877)	油彩、紙	郡山市立美術館	
39	近藤浩一路 五十三次シリーズ 「三島」「沼津」「由井橋」「藤枝」「掛川」「袋井」「浜松」	21のうち7	明治42年 (1909)	油彩、板	山梨県立美術館	
40	横山大観・下村観山・今村紫紅・ 小杉未醒 東海道五十三次合作 絵巻 (第三巻、第四巻、第五巻、 第六巻)	9巻のうち 4巻	大正4年 (1915)	紙本着色	東京国立博物館	場替
41	池田遙邨 東海道スケッチ帳 (「見附～岡部」「静岡～蒲原」 「蒲原～箱根」)	6冊のうち 3冊	昭和3年 (1928)	鉛筆、紙	倉敷市立美術館	場替
42	池田遙邨 昭和東海道五十三次	3帖	昭和6年 (1931)	絹本着色	倉敷市立美術館	場替
43	池田遙邨 東海道絵日記 中巻	3巻のうち 1巻	昭和5年 (1930)	紙本墨画淡彩	倉敷市立美術館	場替